

第1部

輸血業務検討小委員会報告 －検査技師による輸血療法委員会活動－

座長：前原 光江 先生 埼玉社会保険病院 臨床検査部

スライド1

輸血業務検討小委員会

目的: 輸血業務の諸問題について意見を集約し、埼玉県合同輸血療法委員会に提言する。

事業・検討事項

- ・適正で安全な輸血管理の実践についての検討
- ・輸血関連技術に関する情報交換および調査
- ・輸血管理部門の視点からの輸血用血液の安定供給に関する検討

小委員会は昨年7月に発足いたしました。輸血業務の諸問題について意見を集約し、埼玉県合同輸血療法委員会に提言するという大きな目的があります。臨床検査技師は輸血業務の大部分を担当しています。小委員会の事業・検討事項として、

- ・適正で安全な輸血管理の実践についての検討
- ・輸血関連技術に関する情報交換および調査
- ・輸血管理部門の視点からの輸血用血液の安定供給に関する検討

があります。

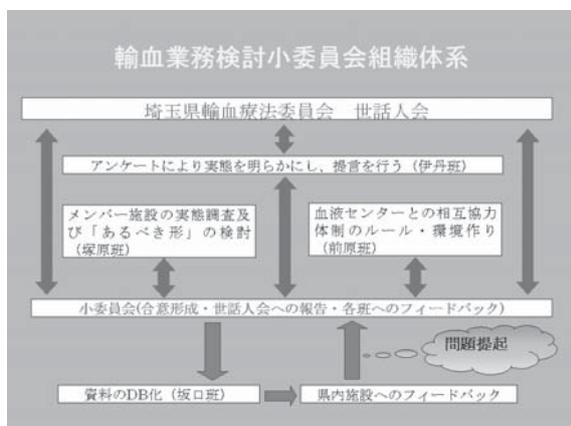
スライド2

輸血業務検討小委員会

血液センターとの協力	医療の底上げ①
前原 光江 埼玉社会保険病院	伊丹 直人 埼玉県立朝霞産科・呼吸器病センター
藤沢 繁志 埼玉医科大学国際医療センター	淵田 昇一 一心会 伊勢病院
丸山 一重 深谷赤十字病院	坂中 清美子 埼玉県立小児医療センター
松下 俊成 埼玉県赤十字血液センター	
神山 崇 埼玉県赤十字血液センター	
データベースの作成	医療の底上げ②
坂口 武司 群馬医科大学病院	塚原 晃 戸田中央総合病院
大木 浩子 埼玉医科大学総合医療センター	源達 一成 聖隷医療科大学附属病院
加藤 光洋 埼玉医科大学病院	武岡 雄二 自治医科大学附属さいたま医療センター
別所 敏子 独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	岡本 直子 さいたま赤十字病院
	白石 智子 さいたま赤十字病院
	長谷川 卓也 上尾中央総合病院
	見城 千春 埼玉社会保険病院

小委員会は16施設と血液センターの19名の委員で構成し、4班に分かれ活動しています。スライドのように、「血液センターとの協力」前原班は5名、「データベースの作成」坂口班は4名、「医療の底上げ①」伊丹班は3名、「医療の底上げ②」塚原班は7名のメンバーです。

スライド3



伊丹班では、輸血使用量の少ない施設を対象に輸血医療の底上げをめざし、塚原班では、小委員会16施設の実態調査を行い、お手本となるべく輸血医療の「あるべき形」をめざします。また、前原班では、血液センターとのルール・環境づくりをめざします。これらの班で検討したことを世話人会での承認をいただき坂口班がデータベース化します。そのデータベースを血液センター医薬情報を窓口、県内の医療機関にフィードバックしていく活動です。これからそれぞれの班から発表していただきますが、活動をはじめてまだ半年なので、今回は問題提起になるかと思います。